

笠松町総合計画における将来像検討資料

[参考]これまでの将来像の変遷

笠松町総合計画(昭和50年度から昭和59年度)

清流木曾川に抱かれた
住みよい豊かな商工業都市

笠松町第2次総合計画(昭和56年度から平成2年度)

清流木曾川にいだかれ
こころ豊かな連帯社会

笠松町第4次総合計画(平成13年度から平成22年度)

清流木曾川に抱かれた
個性豊かな生活文化都市
～にぎわいが育む きらめく未来～

笠松町第3次総合計画(平成3年度から平成12年度)

「木曾の清流にいだかれた
個性豊かな生活文化都市」
人・自然・文化の調和
～「静」から「動」へのプロローグ～

将来像とは、…① 将来のまちの姿を一言で表現

② まちづくりの合言葉

③ 強いインパクトによるつかみ

↑
下線部分については、これまで将来像として継続して用いられてきた表現(言葉)

笠松町第5次総合計画(平成23年度から平成32年度)における将来像の検討

案

清流木曾川に抱かれ(た)

→○○○○○○○○生活文化都市

～□□□□□□□□□□～

「～生活文化都市」とする場合の○○○○部分

- (案1)個性豊かな
- (案2)いやしと安らぎの
- (案3)絆育む
- (案4)持続可能な
- (案5)道徳育てる
- (案6)ひと・まち・自然(が)輝く
- (案7)こころ豊かな

「～生活文化都市」としない場合

- (案8)快速空間都市

□□□□□□□□□□部分案

- (A案)暮らし 楽しい 快速 笠松
- (B案)人彩る いのち輝くまち
- (C案)共感・共生の笠松人づくり
- (D案)形なきものを大切にする人美しきまち
- (E案)新しい時代の新しい公共づくり
- (F案)人つと い人輝く 笠松
- (G案)人の笑顔の花咲くまち
- (H案)みんなでつくる舞タウンかさまつ